

WINDOWS 2000 について

2000年2月18日、マイクロソフトは日米で同時に「Windows2000」を発売開始する。この事の意味と、それに対する我々の対応について簡単に述べてみたい。

1) 先ず「WINDOWS」という言葉の意味をこの際理解しよう

「WINDOWS」とはマイクロソフト社が開発した OS (Operating System) であり、コンピュータのハードウェアと様々なソフトウェアを繋いで管理する基本ソフトのことである。現在では世界のパソコンの80%を占めると云われており、我々はこのWINDOWSの出現により始めてコンピュータの世界に触れることが出来るようになったと云っても過言ではないだろう。

WINDOWSの最大の特徴はGUI (Graphical User Interface) であり、アイコンなどの視覚情報を利用して初心者にも分かり易いシステムである。これが如何に大きな変化をコンピュータに齎したかは、我々がそれまでのOSであったMS-DOSの画面では手も足も出ない心理状態に陥ることから明らかだが、その歴史を辿ってみると

1986 Ver. 1.0

1992 Ver. 3.1 これが現在の「WINDOWS」のいわば原点

1995 95 ここでMS-DOSから完全に独立して爆発的に売れ始めた

1998 98 95の進化だけでなくInternet Explorerと統合された

こうしてみると開発とそれに続く改良の物凄いスピードを感じると共に、我々はよい時代に巡り合っていること、また我々は今や遅れずに最先端技術に触れているのだということを実感する。

2) Windows 2000の登場

既にプレリリース版が出ているし、様々な紹介が行われているが、来年早々には「Windows」98の延長線上に開発コード「Millennium」と、NTの延長線上に2000 Professionalが登場し、その2つが最終的には開発コード「Neptune」と呼ばれる所謂Windows2000に統合されると云われている。

この故に2000は98の改良版というのではなく、NTのそれであると言うのが定説となっているわけだが、その特徴は、

イ) 最も喧伝されているのは、システムが安定しており、98より信頼性が高いOSということ、セキュリティ機能が充実しており、プラグ・アンド・プレイ、USBに対

応し易くなったなど、ともかく安定性に重点が置かれていることで、これは95・98の不安定性が悪名高かった故の改良であろうと思われる。

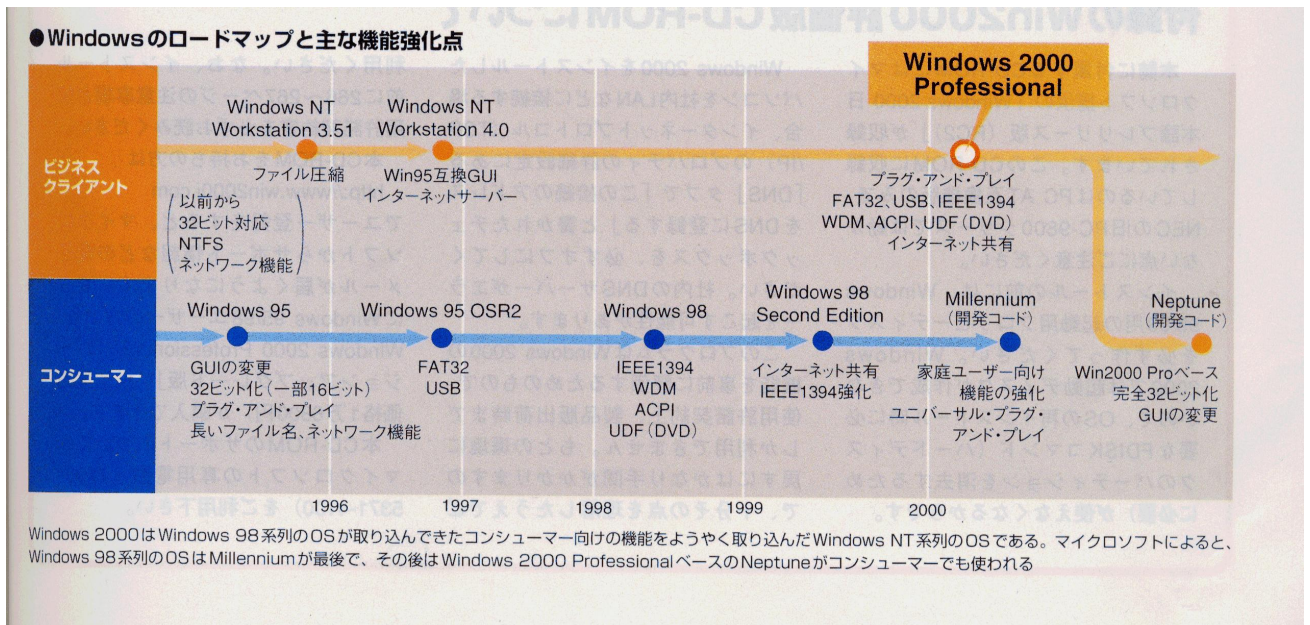
- ロ) 今までの95・98が個人ユーザー向けであったのに、2000はビジネスユーザー向けであったNTの後継版なのだ。しかし今までNTでは使いにくかった様々な周辺機器やアプリケーションソフトも2000では使えるようになると思うので、我々にとっては98がより安定性の高いNTの特性を取り入れたOSに進歩したのだと考えて対応すればよいのであろうか??

3) 2000の問題点

WINDOWS 2000を98からアップグレードする場合、従来98で使っていた周辺機器、ソフトがすべて2000でサポートされているかに不安が残る。一応はOKとされているが、必ずしも100%の保証は無い。元々NTはビジネスソフトであって、家庭用ソフトやゲームの類は動作検証していないし、周辺機器によっては2000用のドライバーを入手、確認する必要が生じると思われる。

OSが変わるということは厄介なことなのだが、今回は95から98への移行よりも少し面倒だという気がするので安易にアップグレードは出来ない。

少なくとも2000を積む時は、必ず自分のデータをバックアップしてからにするべきである。



以上/